令和元年11月12日

# マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594

FAX:097-554-4049

第104号

### トピックス

●令和元年7·8·9月 分の単価(確定)が 公表されました。

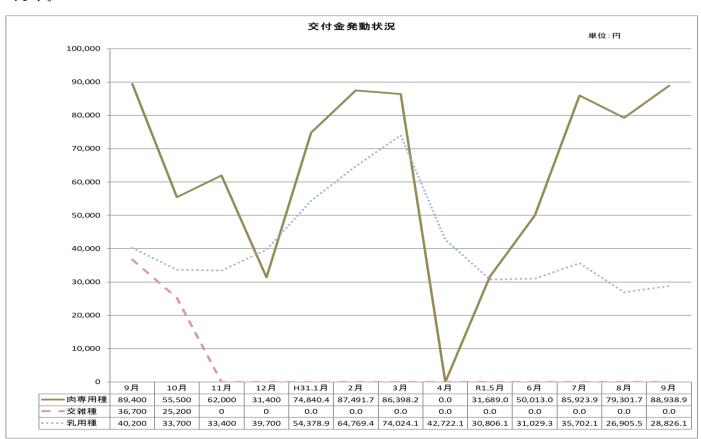
•7·8·9月分の交付 金交付は、11月27 日(水)を予定してお ります。

## 令和元年7月-8月-9月分交付金精算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和元年7月·8月分の交付金精算払単価が公表されましたので、精算払いを行います。

また、9月分の交付金単価が公表されました。肉専用種については、88,938.9円・乳用種については、28,826.1円 交雑種については交付がありませんでした。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和元年7月・8月・9月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)」をご覧ください。



## 牛マルキン事業に関係するホームページ

- ★公益社団法人 大分県畜産協会 <a href="http://ooita.lin.gr.ip/">http://ooita.lin.gr.ip/</a>
- 当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。
- ★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin\_00002.html 補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

#### ★畜産物の市況展望【牛肉】

#### ~牛肉、量販筋は交雑牛が主力アイテムに~

2019 年 10 月の牛枝価格は、季節的にも焼き材からスライス材へと棚替えが進む時期のため、カタロースなどを中心に動きが良化し、和牛は戻した。しかし、消費増税などを背景に日本経済の先行き不透明感が強まる中、過去最大級の台風 19 号が東日本各地に甚大な被害を及ぼし、年末の最需要期に向けて少なからず影を落としそう。

9月の牛枝肉価格は、和牛は去勢 A5 が前月比 72 円高の 2,745 円 (前年同月比 91 円安) と戻し、同 A4 は 55 円高の 2,431 円 (同 88 円安)、同 A3 は 21 円高の 2,196 円 (同 77 円安)、同 A2 は 34 円高の 1,973 円 (同 64 円安)と、いずれも 8月の底値から回復した。

一方、高値に張り付いていた交雑牛はロイン系の荷動きが鈍化。天井感が出て B4 で 2 円 安の 1,765 円 (同 7 円高)、B3 が 32 円安の 1,648 円 (同 48 円高)、同 B2 は 26 円安の 1,510 円 (同 53 円高)。依然として前年実績は上回ったが高値が疲れをみせた。

乳去勢 B2 は 6 円安の 927 円 (30 円安) と下押し。供給量が少ないため、売り場で訴求しづらく低調な推移を続けている。

9月は連休絡みの特売需要が活発化、気温が低下し薄切りなどに引き合いがシフトし、低迷していた和牛も小幅ながら回復した。とはいえ 10月の増税前に大々的なセールを打つ量販店が多く、家電や生活必需品などを前倒しで購入する動きがみられ、嗜好品の牛肉は後回した。

10 月に入ると消費者の節約志向は一層強まった印象で、量販店で和牛は単価的に訴求しづらく、交雑牛が主力アイテムになり、カタロースは品不足感が顕著となった。ただ、「値ごろ感が少しでもずれると全く動かない。以前にも増して価格にシビアになっている」(量販店)とされ、8 月まで続いた騰勢感は薄れた。消費者の低価格志向を反映し、比較的割安な輸入牛肉はよく動く。

大型台風が広域にわたり深刻な被害を与え、11 月も好材料は少ないか。消費の二極化が進む中、高単価品の和牛は特定銘柄や、こだわりのある枝は堅調。小売は交雑牛のスライス材に引き合いが集中しそう。和牛去勢 A5 で  $2,650\sim2,700$  円、A4 で 2,400 円前後、A3 で  $2,150\sim2,200$  円、 $\infty$  発種去勢 B3 で  $1,550\sim1,600$  円。

(※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌11月号 抜粋)